

新刊のご案内！

『元町維新』

—横濱開化秘聞—

時代小説
第3弾



開港に沸く幕末・横濱村
で、砂州開拓と町復興
に力を注いだ男たちの
熱きドラマ！

館林・横濱・神戸を
舞台に、近代日本開港
の裏面史を、感性豊かな
筆致で描写した時代小説。

幻冬舎ルネッサンス 定価(本体1600円+税)

四六判上製本 (320 ページ) / 定価 (本体 1600 円+税)

ISBN978-4-7790-0631-9 C0093 ¥1600E

【本書あらすじ】

幕末の横濱。ペリー来航で、日本は亜米利加との通商を迫られる。地理的な条件などを考慮した幕府は、開港地として、寒村だった横濱村と、神戸に白羽の矢を立てる。

横濱村名主・石川徳右衛門は、その重責を全うすべく、開拓事業を推し進めていく。そこで、気風の良さと、人望の篤さを兼ね備えた、ある男を差配頭として推挙する。次郎左衛門と名乗るその男は、かつて上州館林で、刃傷沙汰を引き起こした元侠客であった ——

館林—横濱—神戸を舞台に、
近代日本開港の裏面史を、
様々な人間模様を絡めながら
感性豊かな筆致で描写した時代小説。

「綿密な調査をベースに、主役となる凶状持ちの佐吉や名主見習いの石川半右衛門を、開港時の事件、愛憎などを絡ませた時代小説として読者を往時に誘う著作の妙に感服した。」元町自治運営会 会長 杉島和三郎氏

著者紹介 たなか 踏基 (たなか・とうき)

山形県山形市生まれ。埼玉県上尾市在住。新潟大学工学部応用化学学科卒業。日本化薬(株)で化学技術を専門とする。『雪』で京都大学新聞社第3回懸賞小説入選(選考伊藤整、野間宏)。主な著書に『進化する化学技術』(工業調査会)、SCE-net共同編集、『奇妙な喫茶店』(文芸社)、『奇妙な猫たち』(同)、『奇妙な受精卵』(幻冬舎ルネッサンス)、『奇妙な羽衣伝説』(同)、『七日市藩和蘭薬記』(同)、『陶匠の血脈』(同)など。

©「たなか踏基の小説の部屋」URL <http://www.author-touki.net>

注文書	貴店印	定価 1680 円 (本体 1600 円+税)	幻冬舎ルネッサンス 『元町維新』 —横濱開化秘聞— たなか踏基	ISBN978-4-7790-0631-9
		冊	お客様欄 (氏名・住所・連絡先)	

幻冬舎ルネッサンス TEL:03-5411-6710 FAX:03-5411-6667